

荻窪地域クイズ⑤

荻窪駅南口から環八に向かうバス通りの善福寺川に架かる橋は忍川橋(おしかわばし)です。川上には忍川上橋、川下には忍川下橋があります。江戸時代このあたりは下荻窪村・忍ヶ谷戸(しのびがやと)と呼ばれていて、もとは『しのびかわばし』だったのが昭和になって『おしかわばし』に変わったようです。

さて、この地が『しのびがやと』という地名になった由来について、ある伝承があります。それはどのようなものでしょう。



正解 下荻窪村が伊賀忍者の棟梁服部半蔵の知行地に、上荻窪村が伊賀同心8名の知行地になったという伝承です。

実際は、このような史実はなく、唯一伊賀者(伊賀出身とは限らず、伊賀者という名前が付く役職に就いている者)の知行地が上荻窪村にあったことは事実のよう

のようです。
これと、下荻窪村に“忍”という字が付く地名があったことで、上記の荻窪忍者の伝承が形成されていったのではないで



のうトレパズル⑤

正解

